

25	生活文化スポーツ局	東京文化戦略 2030 の実現に向けた事業
事業概要	令和 4 年 3 月に策定した東京文化戦略 2030 に基づく施策を展開し、「芸術文化で躍動する都市東京」を推進する。	
これまでの経過	【東京文化戦略 2030 の策定】 1 東京 2020 大会が終了し、新型コロナウイルス感染症の影響、持続・共生社会へのシフト、デジタル化の進展など、社会環境が大きく変化しているタイミングを捉え、令和 4 年 3 月、東京文化戦略 2030 を策定・公表（計画期間：令和 4 年度から令和 12 年度まで）。 2 策定にあたっては、東京芸術文化評議会で議論するとともに、『未来の東京』戦略」とも連動。	
現在の進行状況	【東京文化戦略 2030 の推進】 1 だれもが文化でつながるサマーセッション 2023 令和 5 年 7 月 29 日～8 月 6 日に、芸術文化による共生社会実現に向けて「だれもが文化でつながるサマーセッション 2023」を開催。 2 アートウィーク東京 多くの都民が現代アートへ触れるきっかけとなるよう、令和 5 年 11 月に都内の美術館やギャラリー等を巡る無料のバス周遊事業や、子供若者向け鑑賞ガイドツアー、コレクター志望者向けスタートアップセミナー、国内外からキュレーターを招聘した国際シンポジウム等を実施。 3 芸術文化魅力創出助成 東京都内において実施される、多くの団体や参加者が共に作り上げる様々なジャンルのフェスティバルやアートプロジェクト等の創造活動、東京の魅力として発信力・持続力のある革新的なプロジェクト等の経費の一部を助成。 令和 5 年度は 314 件中 70 件を採択。 4 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] 令和 5 年 4 月にオーストリア・リンツ市の文化機関「アルスエレクトロニカ」と事業連携協定を締結。同機関フューチャーラボ共同代表の小川秀明氏を CCBT クリエイティブディレクターに迎え、新たなミッション「Co-Creative Transformation of Tokyo (CX) ～クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変える」を発表し、東京の都市課題と最先端の創造性を衝突させ、Art for Society の視点からプログラムを展開。令和 6 年 1 月～3 月に、アーティスト・フェロー 5 組が CCBT や都内街なか等で成果発表を実施。 5 区市町村連携事業 3 自治体と連携事業を実施し都民が地域で気軽に芸術文化に触れる機会の創出するほか、都内区市町村との情報共有を目的とした東京都・区市町村文化行政ネットワーク会議を 2 回開催。また、文化施策の企画実施力向上を目的に区市町村等職員を対象とした文化行政講座を 3 回実施。 6 TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト 長期休館中の江戸東京博物館の収蔵品の新たな鑑賞体験を提供するスマートフォンアプリ「ハイパー江戸博」第 2 弾『明治銀座編』のリリースや、デジタル化した約 15 万点の収蔵品を公開。	

今後の見通し	東京都歴史文化財団及び東京都交響楽団との戦略的かつ効果的な政策連携を実現するとともに、教育・福祉・観光分野など多様な主体との連携も強化し、アーティストの成長、アートシーンの拡大、躍動と豊かさが両立した社会を目指して、文化戦略事業を推進していく。			
	1 だれもが文化でつながる国際会議等 芸術文化による共生社会実現に向け、国際カンファレンス及び国内向けの会議を交互に隔年で開催予定。 2 アートウィーク東京 アートウィーク東京が都民の現代アートへ触れるきっかけとなるよう、引き続き様々なアートアクティビティを展開していく。 3 芸術文化魅力創出助成 令和6年7月に令和6年度第1期の助成事業を採択予定。 4 シビック・クリエイティブ・ベース東京【CCBT】 令和6年4月にアーティスト・フェローを募集開始。引き続き5つのコアプログラムの他、海外文化機関との連携や、スタートアップとの協働などを実施。 5 区市町村連携事業 区市町村と連携して地域ニーズに沿った芸術文化事業を各地で実施するほか、東京都・区市町村文化行政ネットワーク会議や区市町村等職員向けの文化行政講座等を通じて、都内自治体との連携を強め、足並みを揃えた施策を展開していく。 6 TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト 都立文化施設の情報通信基盤整備や、デジタル化した収蔵品の公開、デジタル技術を活用したコンテンツ開発を引き続き推進。			
問合せ先	生活文化スポーツ局	文化振興部	企画調整課	電話 03-5000-7227